

正 誤 表

「新版東洋医学臨床論（はりきゅう編）（第1刷）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
24	↑5行目	許俊	許浚
25	4行目	今世紀	1980年代
26	4行目	4世紀中葉	4世紀後半
27	↑8行目	『御纂医宋金鑑・刺灸新法要訣』	『（御纂）医宋金鑑・（編輯）刺灸心法要訣』
	↑1行目	俗字	別体
28	1行目	（中国でも）伝統的に俗字が	（中国・日本ともに）伝統的に別体が
	10行目	附陽	跗陽
	↑9行目	懸鐘	懸鍾
29	↑2行目	「馬丹陽天星十二穴並治雜病歌」	「馬丹陽天星十二穴並治雜病歌」
30	7行目	『靈枢』本藏	『靈枢』衛氣
	8行目	体幹部に	体幹・顔面部に
	↑13行目	「左使穴」	「佐・使穴」
31	16行目	<small>しぎぞう</small> 牡蔵	<small>ほぞう</small> 牡蔵
	17行目	<small>ひんぞう</small> 牡蔵	牡蔵
	18行目	牝蔵	<small>ひんぞう</small> 牝蔵
32	6行目（2箇所）	尅する・尅される	克する・克される

32	表 1-2-5	<p>[以下に差し替える]</p> <p style="text-align: center;">表 1-2-5 変輸のいろいろ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">季節</th> <th colspan="2">【靈枢】</th> <th colspan="4">【素問】</th> </tr> <tr> <th>本輸</th> <th>終始</th> <th colspan="2">金匱真言論</th> <th>水熱穴論</th> <th>四時刺逆從論</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>春</td> <td>絡脈諸榮大經分肉之間</td> <td>毫毛</td> <td>絡脈分肉</td> <td>腧腧</td> <td>絡脈分肉</td> <td>經脈</td> </tr> <tr> <td>夏</td> <td>諸輸孫絡肌肉皮膚之上</td> <td>膚</td> <td>盛經分膜</td> <td>洞洩寒中</td> <td>盛經分膜</td> <td>孫絡</td> </tr> <tr> <td>長夏 (仲夏)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>胸脇</td> <td>—</td> <td>肌肉</td> </tr> <tr> <td>秋</td> <td>諸合</td> <td>分肉</td> <td>經・輸</td> <td>風瘧</td> <td>經・輸</td> <td>皮膚</td> </tr> <tr> <td>冬</td> <td>諸井諸輸之分</td> <td>筋骨</td> <td>井・榮</td> <td>痺厥</td> <td>井・榮</td> <td>骨髓中</td> </tr> </tbody> </table>		季節	【靈枢】		【素問】				本輸	終始	金匱真言論		水熱穴論	四時刺逆從論	春	絡脈諸榮大經分肉之間	毫毛	絡脈分肉	腧腧	絡脈分肉	經脈	夏	諸輸孫絡肌肉皮膚之上	膚	盛經分膜	洞洩寒中	盛經分膜	孫絡	長夏 (仲夏)	—	—	—	胸脇	—	肌肉	秋	諸合	分肉	經・輸	風瘧	經・輸	皮膚	冬	諸井諸輸之分	筋骨	井・榮	痺厥	井・榮	骨髓中
季節	【靈枢】		【素問】																																																
	本輸	終始	金匱真言論		水熱穴論	四時刺逆從論																																													
春	絡脈諸榮大經分肉之間	毫毛	絡脈分肉	腧腧	絡脈分肉	經脈																																													
夏	諸輸孫絡肌肉皮膚之上	膚	盛經分膜	洞洩寒中	盛經分膜	孫絡																																													
長夏 (仲夏)	—	—	—	胸脇	—	肌肉																																													
秋	諸合	分肉	經・輸	風瘧	經・輸	皮膚																																													
冬	諸井諸輸之分	筋骨	井・榮	痺厥	井・榮	骨髓中																																													
33	表 1-2-6 「内外証 (十六難)」の行, 上から 5 番目のカラム	善沫	善味																																																
	表 1-2-7 タイトル	『難経』七十九難の選穴法	『難経』六十九難の選穴法																																																
35	表 1-2-10	<p>[以下に差し替える]</p> <p style="text-align: center;">表 1-2-10 『難経』七十五難の選穴法</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">七十五難型 虚実複合証</th> <th colspan="2">瀉法 (第三法)</th> <th colspan="2">補法 (第三法)</th> </tr> <tr> <th>実経の子穴 (第一法)</th> <th>子経の自穴 (第二法)</th> <th>虚経の子穴 (第一法)</th> <th>子経の自穴 (第二法)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肝実肺虚証</td> <td>行間</td> <td>劳宮</td> <td>尺沢</td> <td>陰谷</td> </tr> <tr> <td>心実腎虚証</td> <td>大陵</td> <td>太白</td> <td>湧泉</td> <td>大敦</td> </tr> <tr> <td>脾実肝虚証</td> <td>商丘</td> <td>經渠</td> <td>行間</td> <td>劳宮</td> </tr> <tr> <td>肺実心虚証</td> <td>尺沢</td> <td>陰谷</td> <td>大陵</td> <td>太白</td> </tr> <tr> <td>腎実脾虚証</td> <td>湧泉</td> <td>大敦</td> <td>商丘</td> <td>經渠</td> </tr> </tbody> </table>		七十五難型 虚実複合証	瀉法 (第三法)		補法 (第三法)		実経の子穴 (第一法)	子経の自穴 (第二法)	虚経の子穴 (第一法)	子経の自穴 (第二法)	肝実肺虚証	行間	劳宮	尺沢	陰谷	心実腎虚証	大陵	太白	湧泉	大敦	脾実肝虚証	商丘	經渠	行間	劳宮	肺実心虚証	尺沢	陰谷	大陵	太白	腎実脾虚証	湧泉	大敦	商丘	經渠														
七十五難型 虚実複合証	瀉法 (第三法)		補法 (第三法)																																																
	実経の子穴 (第一法)	子経の自穴 (第二法)	虚経の子穴 (第一法)	子経の自穴 (第二法)																																															
肝実肺虚証	行間	劳宮	尺沢	陰谷																																															
心実腎虚証	大陵	太白	湧泉	大敦																																															
脾実肝虚証	商丘	經渠	行間	劳宮																																															
肺実心虚証	尺沢	陰谷	大陵	太白																																															
腎実脾虚証	湧泉	大敦	商丘	經渠																																															
	↑3~↑2行目	肺経の自穴と脾経の子穴	肺経の子穴と脾経の自穴																																																

36	表 1-2-11 「虚経の母経の自穴」の行	上から2番目のカラム	太白	大敦
		下から2番目のカラム	陰谷	太白
44	↑ 11 行目		撚鍼術	捻鍼術
	↑ 10 行目		捻鍼術	撚鍼術
47	20 行目		病まる	病なる
50	↑ 16 行目 見出し		E. 雷火鍼法	E. 雷火鍼法および棒灸
	↑ 14 行目		当てる方法である.	当てる方法がある.
	↑ 12 行目		把持した棒灸を	把持した艾条を
61	↑ 12 行目		交感神経 - 副腎皮質系	交感神経 - 副腎髄質系
66	図 2-1-4		[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療， p.50， 医道の日本社， 2005より許諾を得て転載]	
	図 2-1-5		[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療， p.51， 医道の日本社， 2005より許諾を得て転載]	
	図 2-1-6		[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療， p.52， 医道の日本社， 2005より許諾を得て転載]	
	図 2-1-7		[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療， p.40～42， 医道の日本社， 2005より許諾を得て転載]	
67	図 2-1-8		[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療， p.38， 医道の日本社， 2005より許諾を得て転載]	
	図 2-1-9		[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療， p.35， 36， 医道の日本社， 2005より許諾を得て転載]	
	図 2-1-10		[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療， p.44， 医道の日本社， 2005より許諾を得て転載]	

	図 2-1-11	[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療， p.46～48， 医道の日本社， 2005より許諾を得て転載]	
	図 2-1-12	[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療， p.49， 医道の日本社， 2005より許諾を得て転載]	
68	図 2-1-13	[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療， p.30～33， 医道の日本社， 2005より許諾を得て転載]	
	図 2-1-14	[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療， p.26， 27， 医道の日本社， 2005より許諾を得て転載]	
	図 2-1-15	[追記] [篠原昭二：誰でもできる経筋治療， p.23， 24， 医道の日本社， 2005より許諾を得て転載]	
77	↑ 12 行目	下降性疼痛調節系	下行性疼痛抑制系
103	脚注 ↑ 2 行目	上肢下方牽引テスト▶肩引き下げテストとも呼ばれ， 上肢を下方牽引して	上肢下方牽引症状誘発テスト▶上肢を下方牽引して
134	3 行目	崑崙	崑崙
156	脚注	1 行目	進展
		2 行目	陽性靭帯
245	15 行目	榮火穴	榮水穴
251	6 行目	榮火穴	榮水穴
260	↑ 10 行目	抗精神病薬	向精神薬
265	19 行目	合土穴	合水穴
280	16 行目	下降性疼痛抑制系	下行性疼痛抑制系
373	13 行目	血管内皮平滑筋	血管内皮および平滑筋
406	12， 20， 24 行目	ハウス・ブクマン	ハウス・ブラックマン
453	↑ 9 行目	薄膩	やや膩

530	↑ 14 行目	桿体	杆体
-----	---------	----	----

2024年2月14日
株式会社南江堂